



# 木田小だより

令和6年9月3日（火） 第7号 岐阜市立木田小学校

## 令和6年度 第1回 保護者アンケートより

回答率：68%  
ご協力ありがとうございました。

令和6年度の第1回学校アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果を報告するとともに、今後の学校運営の参考とさせていただきます。今年度より年2回アンケートを実施いたします。

	No	アンケート内容	R1	R2	R3	R4	R5	R6①
重点方針	1	木田小学校は、「一人一人の子どもが、毎日、楽しく過ごせる学校」である。	3	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1
	2	木田小では、子どもたちが自分たちで工夫し、よりよい生活をつくろうとする姿がみられる。	—	3.4	3.3	3.3	3.1	3.1
	3	お子様は、将来の夢や目標をもっている。	—	—	—	2.9	2.7	2.8
わかる・できる楽しさ	4	学校では、「分かりやすい授業」をしていると感じられる。	3	3.3	3.4	3.2	3.0	3.0
	5	お子様は、授業でわからないことをそのままにしないで、質問をしたり調べたりして、はっきりさせていると思われる。	2.9	3.1	3.1	2.9	2.6	2.5
	6	お子様は、英語学習や英語を学ぶことに関心があると思われる。	—	2.8	2.9	2.8	2.8	2.9
	7	お子様は、英語を学習することを楽しみにしているようである。	—	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8
生活する楽しさ	8	子どもたちは、「あいさつ」がよくできている。	2.9	3	2.9	3	2.5	3.0
	9	子どもたちは、クラスのみならずで約束やルールを決めて、みんなと仲良く生活することができている。	3.2	3.4	3.4	3.2	3.0	3.1
体を動かす楽しさ	10	子どもたちは、委員会やクラスでの係の仕事を進んで行うことができている。	3.4	3.5	3.3	3.4	3.3	3.2
	11	子どもたちは、真剣で丁寧な掃除をすることができている。	3.3	3.4	3.4	3.3	3.1	3.1
安全・安心	12	木田小では、防犯・防災・交通安全・校舎内外の設備の安全等、子どもの安全・安心に配慮していると感じられる。	3.4	3.5	3.3	3.2	3.1	3.1
	13	木田小の職員は、子どもの悩みや相談、保護者からの相談、電話や学校を訪れたときなどに、丁寧に対応していると感じられる。	3.2	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2
	14	木田小の子どもは、仲間同士で（特に学級の仲間同士の中で）、正しいと思ったことを遠慮なく言い合うことができている。	2.8	3.2	3	3	3.0	3.0
家庭との連携	15	木田小では、子どもの様子が、電話や通信、ホームページなどを通して、家庭によく伝えられている。	3	3.3	3.2	3.3	3.4	3.4
	16	お子様は、家庭学習を、毎日欠かさずしっかりすることができている。	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	3.0
家庭教育	17	私の家では、子どもから学校の話や、家庭で一緒に活動したりして、子どもとのふれあいを大切にしている。	3.4	3.5	3.2	3.2	3.2	3.0
	18	いじめ問題について、学校の対応は安心できるものであった。	—	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0
学校運営	19	木田小は、子どもたちが安全に生活することができるよう、衛生管理に努めている。	—	3.5	3.4	3.4	3.2	3.1
	20	お子様は、タブレット端末を効果的に利用している。	—	3.1	3.3	3.2	3.1	3.0

◇ アンケートは、

4：よく当てはまる 3：まあまあ当てはまる 2：やや当てはまらない

1：まったく当てはまらない 0：評価できない（評価不能）

4段階+1でお答えいただきました。表示した数字は、平均数値となります。



## 保護者アンケート結果よわかる成果と課題

全体的にみて、「重点方針」「生活する楽しさ」「体を動かす楽しさ」「安全・安心」「家庭との連携」「家庭教育」「学校運営」については、3以上の評価が多くおおむね良好といえます。しかし、「わかる・できる楽しさ」、「夢や目標をもつこと」については課題が残ります。

### 【課題を解決するために】

- ・No.3の「日常生活に夢や目標をもって臨む姿」について、2.8という数値になっています。前回の調査よりも微増です。定期的に行っている子どもたちへのアンケート「あなたは将来の夢や希望をもっていますか」では、おおむね9割以上の高値となっています。これは、年間を通して子どもたちに夢や目標をもつことの大切さについて働きかけた成果といえます。しかし、夢や目標に向けて努力し続けていることが姿として見えにくい面もあったように思えます。今後も夢や目標をもつだけでなく、努力する姿を応援し、励まし続けていきたいと思えます。
- ・「わかる・できる楽しさ」では、授業で分からないことをそのままにしている姿、英語学習への興味や関心に課題が見られます。現在、ペア学習やグループ学習などの学び合いの授業を大切にしています。また、総合的な学習の時間などで、探究的な学習を重視しながら、主体的・対話的で深い学びを求めています。今後もタブレット端末などICT機器を効果的に活用しながら、学力向上に努めて参ります。また、英語学習では、ALTとの連携を図りながら、子どもたちが主体的に取り組めるような授業改善を図っていきます。
- ・子どもたちの安全・安心や防犯上の課題として、来校者用名札の着用がない人がいるというご指摘がありました。保護者の皆様には、専用名札をお渡ししていますが、名札のない来校者の皆様には、来校者用の名札を貸し出して着用するよう働きかけてまいります。

### 【成果として】

- ・前回調査で課題となっていた「あいさつ」については、「2.5」→「3.0」に大幅に増加しています。保護者の皆様から、「学校を訪問した際に、子どもたちが男女ともあいさつをしてくれた。うれしかった。」というご感想をいただきました。これは、保護者の皆様や私たち教職員が手本を見せ、あいさつの大切さを伝えてきたことに起因すると思われまます。「あいさつ」は、心を開くこと。他者とのよりよいかかわりをもつ第一歩です。今後もあいさつの大切さを伝えていきたいと思えます。
- ・委員会や係の仕事等を一生懸命取り組む子どもたちの姿がみられます。その様子を、電話や学級通信、ホームページ等で積極的に伝えたり、子どもたちや保護者の皆様のご相談に真摯に応じたりしてまいりました。課題はあるものの、保護者や地域の皆様と連携を図るよう努めてきたことは、成果として挙げられます。今後も「自分で・みんなと・創り出す」の学校の教育目標具現を目指し、職員一丸となってお子さんの支援にあたっていきます。

## 木田小おもしろい日2024(HPより)

8月29日(木) 40日間の夏休みが終わり、学校が再開されました。夏休み後の最初の一日は、木田小の仲間と一緒に一日を楽しむ「木田小おもしろい日2024」です。通常の国語や算数の授業はなく、午前も午後も「おもしろい活動」を行いました。

「大道芸・昔遊び」(ドリームシアター岐阜)、「ふれあい・いきいきサロン」(岐阜市社会福祉協議会)、ヤクルト出前講座(岐阜ヤクルト販売株式会社)、「カルビー出張授業『スナックスクール』」(カルビー株式会社)、「和菓子作り体験」(末廣屋本店)、「じゃがいも11回目の挑戦」(NPO法人 日本動物介護センター)の講座を6団体の皆様にご依頼し、おもしろい活動を行いました。

久しぶりの仲間と一緒に、体を動かしたり、お菓子作りやものづくり等について学んだりしながら、充実した一日を過ごすことができました。また、災害救助犬「じゃがいも」の話から、防災について考えたり、災害救助犬の試験に何度も失敗しても合格するまで頑張り続けた山口さん、上村さん、じゃがいもの「諦めない心」も学んだりすることができました。子どもたちの笑顔がたくさん見られ、素敵な一日となりました。

6団体の皆様、ご多用の中、素敵な活動を実施してくださり、ありがとうございました。

